口に変な炎症が

あります

２０２３年３月9日で私達は結婚50年、いわゆる金婚式を迎えた。子供たちは昨年頃から私達に何かお祝いを考えている、らしい。気持ちはありがたいが子供らに不要な負担をかけるわけにいかない、と二人で相談の結果「逃避行」することにした。海外旅行だ。

GW連休明け６月初旬発の「カナダ・アメリカ世界遺産絶景９日間」に申し込んだ。ナイアガラの滝、グランドキャニオン……の定番コース。年金暮らしで資金はない。しかし以前ヨーロッパ・ロマンティック街道を走るスイスドイツの旅も何かの拍子に思い切って申し込んだ、実際感動の連続で、今回もきっといいことがある、と思った。

申し込み金の支払いを終え、旅好きの義弟の協力も得て着々準備は進んでいた。職場のOBで作る懇親会がコロナ明け開催が決まり「３月19日出席」の連絡もした。

「虫歯っぽい」ので歯も治しておこう、昨年10月に作った入れ歯のメンテも兼ね歯科に出向いた。すべてすべて万端進んでいた。

３月13日、５か月ぶり行き付けの歯科院長がボクの口の中を見た途端に顔色をなした。「変な炎症があります。すぐ歯科大(九州歯科大)に紹介状を書きます」とあわてている。

「何だ、何が起きたのだ」紹介状というのが気にはなるが、ノー天気な私のことだ、大したことはない、に決まっている、と思った。その時はまだ大事になるとは想像だにしなかった。